

ALBIREX NIIGATA

Corporate Profile

ALBIREX NIIGATA INC.

2-1-10 MISAKI-CHO, CHUO-KU, NIIGATA-CITY, NIIGATA 950-0954, JAPAN

TEL025-282-0011 FAX025-282-0013

URL <http://www.albirex.co.jp/> MOBILE <http://www.albirex-m.jp>





百年構想



スポーツが生活の一部となる、“スポーツ文化”の確立を目指します。

Jリーガーを目指してボールを追う子供たちをはじめ、年齢や目的に応じて誰もがスポーツを楽しんでいる。その隣で家族、友人が集まり、喉を潤しながら会話を楽しむ。Jリーグは、

こんなスポーツライフが日常の一部となった光景を目指しています。そして、アルビレックス新潟は実現に向け、地域に根差したスポーツクラブ作りへ、歩みを始めています。

Jリーグ理念

- 日本サッカーの水準向上およびサッカーの普及促進
- 豊かなスポーツ文化の振興および国民の心身の健全な発達への寄与
- 国際社会における交流および親善への貢献



Jリーグ活動方針



1. フェアで魅力的な試合を行うことで、地域の人々に夢と楽しみを提供します。
2. 自治体、ファン、サポーターの理解・協力を仰ぎながら、世界に誇れる、安全で快適なスタジアム環境を確立していきます。
3. 地域の人々に、Jクラブをより身近に感じていただくため、クラブ施設を開放したり、選手や指導者が地域の人々と交流を深める場や機会をつくっていきます。
4. フットサルを、家族や地域で気軽に楽しめるようなシステムを構築しながら普及していきます。
5. サッカーだけでなく、他のスポーツにも気軽に参加できるような機会を多くつくっていきます。
6. 障害を持つ人も一緒に楽しめるスポーツのシステムをつくっていきます。

Jリーグの成果

Jリーグでは、理念の具現化に向かって様々な活動を行ってきました。その大きな成果としては、大成功に終わった「2002年FIFAワールドカップ 韓国/日本大会」の開催と日本代表チームの活躍、「世界最大のサッカートレーニング施設ヴィレッジの誕生」、「スポーツ振興くじ『toto』の実施」という形で現

れました。また、全国の自治体の協力もあり、各地の競技施設も年々充実し、地元の方々が緑の芝生の上でスポーツを楽しむような環境が整いつつあります。Jリーグは誰もが気軽にスポーツを楽しめる総合スポーツクラブ作り、つまりは豊かなスポーツ文化の振興の推進役でありたいと願っています。



Jリーグとアルビレックス新潟が積み上げてきたもの

百年構想の実現へ、 これだけの成果が上がっています。

アルビレックス新潟クラブコンセプト

- 未来ある子どもたちに
『夢を与えられる人づくり』に貢献します。
- 地域の人々と共に
『活気あふれるまちづくり』に貢献します。
- 地域と世界を結ぶ
『豊かなスポーツ文化の創造』に貢献します。



アルビレックスの成果

総合スポーツクラブの旗手として注目されるアルビレックス新潟

アルビレックス新潟は、Jリーグの理念を基に、独自のスポーツクラブづくりをゼロから進めてきました。2004年からJリーグディビジョン1に参戦しているトップチームはもちろんのこと、日本女子サッカーリーグに所属し、トップチームに続いてディビジョン1に昇格した「アルビレックス新潟レディース」、日本初のプロバスケットボールクラブ「新潟アルビレックスBB」、プロチアリーダーズ「アルビレックスチアリーダーズ」、「チームアルビレックス新潟」、「新潟アルビレックスランニングクラブ」、「新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」、「新潟アルビレックスBBラビッツ」、「新潟アルビレックスレーシングチーム」、などの存在により、新潟では年間を通じて、スポーツ観戦を楽しむことができます。

また、ユース、ジュニアユースといったサッカー下部組織の充実に加え、県内に9校のサッカースクールを展開し（13年12月現在）、幼児から成年まで幅広い競技レベルと年齢にあわせた指導を行っています。さらに、フットサルコートなどクラブの所有する施設を一般に開放して、新潟に性別や年齢を問わずスポーツを楽しめる環境を整えてきています。

03年にアルビレックス新潟をJ2優勝、J1昇格へと押し上げた大サポーターの力は社会現象ともいわれ、各方面からの注目を集めました。また、クラブを物心両面で支援することを目的として設立された、アルビレックス新潟後援会は県下40地区に細分化されたネットワークを生かして支援者を募る一方で、東京、大阪といった大都市や新潟県周辺へとその活動地域を広げています。そして、ホームゲーム運営には、ボランティアの皆さんや、県内の高校生、専門学校生などが参加して、クラブとともに大観衆の詰めかけるスタジアムを支えていただいています。

こうした活動を通じて、アルビレックス新潟は日本を代表するクラブとして成長することを目指すとともに、新潟の方々には欧州などでは日常化している『スポーツをする楽しみ、観る楽しみ、支える楽しみ』を提供していきます。

- トップチーム [Jリーグ]
- レディース [なでしこリーグ]
- 新潟アルビレックスBB [バスケットボール]
- 新潟アルビレックスBBラビッツ [女子バスケットボール]
- アルビレックスチアリーダーズ
- チームアルビレックス新潟
- 新潟アルビレックスランニングクラブ
- 新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
- 新潟アルビレックスレーシングチーム



- ユース・ジュニアユース
- ホームゲーム前座試合
- サッカースクール事業
- サッカー普及事業
- フットサルコートの開放

- アルビレックス新潟後援会
- スポンサーによる
タイアップ商品の販売
- ボランティアによる
ホームゲーム運営補助

新潟アルビレックスBB



©新潟アルビレックスBB

新潟アルビレックスBBラビッツ



©NIIGATA ALBIREX BB RABBITS/WJBL

アルビレックスチアリーダーズ



©アルビレックスチアリーダーズ

チームアルビレックス新潟



©チームアルビレックス新潟

新潟アルビレックス
ランニングクラブ



©新潟アルビレックスランニングクラブ

新潟アルビレックス・
ベースボール・クラブ



©新潟アルビレックスBC

新潟アルビレックス
レーシングチーム



美しく飛翔する白鳥王、アルビレックス新潟

クラブ名「アルビレックス新潟」の由来

白鳥座の中でひととき輝くオレンジとブルーの二重星が「アルビレオ」。新潟には白鳥が多く飛来します。この白鳥をキャラクターに、オレンジには新潟の美しい夕日、ブルーが日本海の美しさが、それぞれ連想できるという3つの理由から、前身となる「アルビレオ新潟」が命名されました。その後、Jリーグ会員の条件のひとつである「チーム名称条件」をクリ

アするためにチーム名称を変更することに決定。県民投票に委ねられた結果、アルビレオがさらにパワーアップし、サッカー界の王者に向かって羽ばたいて欲しいという願いを込めて「アルビレ(アルビレオ)+レックス(ラテン語で“王”)」＝「アルビレックス新潟」となりました。

エンブレムマーク



ロゴマーク



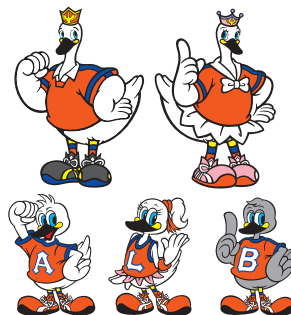
クラブフラッグ



キャンペーンマーク



クラブマスコット (アルビくん、スワンちゃん、アーくん、ルーちゃん、ビィくん)



ホームスタジアム紹介



デンカビッグスワンスタジアム

会場名：デンカビッグスワンスタジアム 収容人員：42,300人
所在地：新潟市中央区清五郎67番地12

2002FIFAワールドカップTMで名勝負の舞台となったビッグスワンは、今やアルビレックスサポーターの「聖地」。鳥屋野潟に横たわる優雅な外観は、新潟の名所としても親しまれています。



デンカビッグスワンスタジアム外観



新潟市陸上競技場

会場名：新潟市陸上競技場 収容人数：18,671人
所在地：新潟市中央区一番堀通町3-1

地域リーグ時代から、アルビレックス新潟とともに歩んできた歴史あるスタジアム。多くの感動や名勝負を演出したスタジアムです。

クラブハウス紹介



アルビレックス新潟クラブハウス・練習グラウンド

所在地：北蒲原郡聖籠町東港5-914-2

2003年に竣工したアルビレックス新潟の拠点。充実した設備に加え、隣接するクラブハウスレストラン「オレンジカフェ」では、選手たちに栄養面をコントロールした食事が提供されています。また、トップチームのみならず、ユース、レディースチーム用の設備が整えられており、今後さら

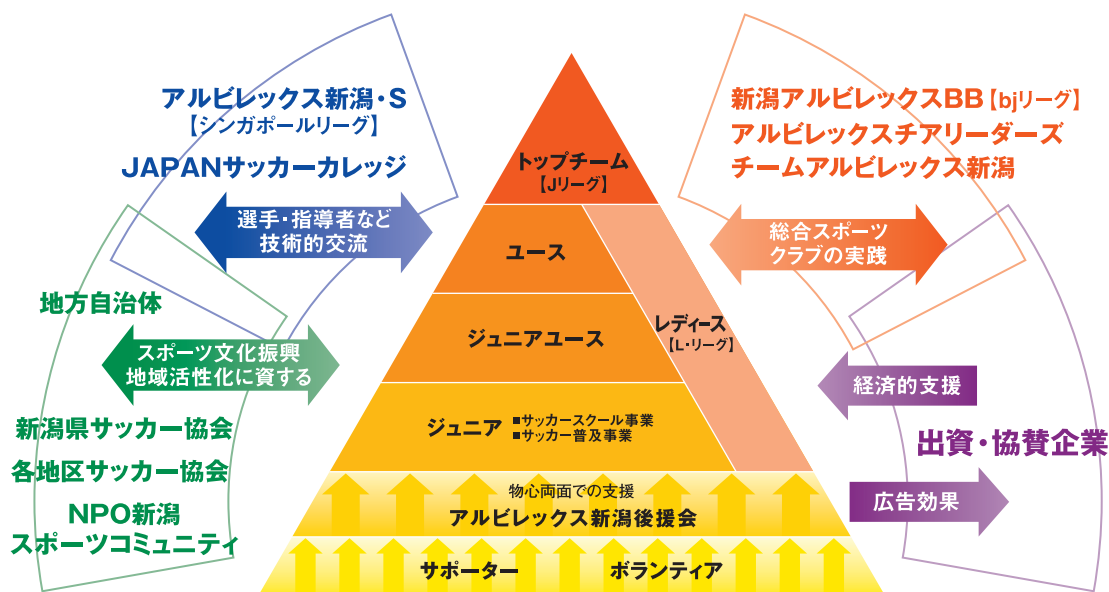
に活動の幅を広げていく上でも中心的な存在となります。竣工に際して、聖籠町にもホームタウンに加わっていただき、名実ともにクラブの活動拠点としての役割を担っています。



アルビレックス新潟はサポーターに支えられ、ともに歩むクラブです

地域に根ざした存在へ

クラブ・地域とのリレーション図



2005年のアルビレックス新潟の年間入場者数は、681,945人。これは、Jリーグの年間入場者数の新記録（2005年当時）となり、一種の社会現象として各方面でも大きく取り上げられました。近年のトップチームの躍進はもとより、クラブ設立以来、「サポーターあつてのクラブ」という志を掲げて活動をしてきた賜物であるといえます。



「Join賞」盾

サポーターや地域と一体となったクラブの活動は、新潟県、Jリーグからも高く評価され、2003年には、新潟県知事より知事表彰、2003年、2004年は2年連続でJリーグより「Join賞」（チェアマン特別賞）を受賞しています。これらは、毎試合スタンドを埋めるサポーターなしには、受賞し得なかったものであり、アルビレックス新潟の歴史はサポーターによって築かれているといっても過言ではありません。

経済効果

また、アルビレックス新潟は、地域への経済効果の面でも大きな貢献を果たしています。J1リーグ昇格を成し遂げ、盛り上がりを見せた2003年の経済効果は直接需要、間接需要をあわせて31億4700万円（新潟県統計課/J1昇格記念セール等の経済効果を含みます）とされ、地域経済に大きな影響を与えることになりました。



J1リーグ昇格・J2リーグ優勝パレード

国際交流

2004年には、シンガポールリーグで兄弟チーム「アルビレックス新潟・S」が活動を開始、同年夏にはアルゼンチンからボカ・ジュニアーズ、スペインからバレンシアCFを招き、国際試合を開催しました。海外クラブとは、その後も大連実徳（2005年、中国）、セビリアFC（2006年、スペイン）を招へいして試合を開催しており、アルビレックスを介して“新潟”を世界中へ発信する役割を果たしています。

ワールドチャレンジマッチ2004
バレンシアCF（スペイン）戦



これからも、アルビレックス新潟はスタジアムを埋め尽くす多くのサポーターとともに、“世界に誇れる新潟づくり”を目指して歩みつづけます。

サポーターとともに作り上げる、魅力あふれるホームゲーム

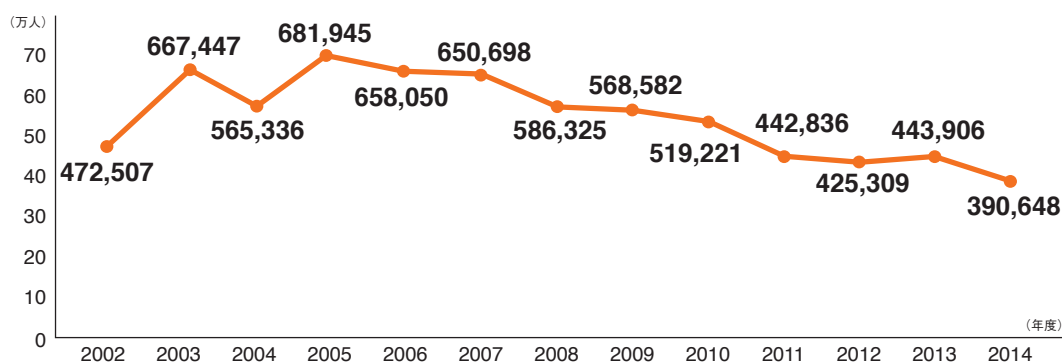
新潟県民に応援する喜びを

アルビレックス新潟は2003年、Jリーグの年間入場者数の記録を8年ぶりに更新しました。この年の1試合あたりの平均入場者数は30,339人でJ1リーグ、J2リーグの平均入場者数を大きく上回るものとなりました。新潟スタジアム（ビッグスワン）の完成や2002FIFAワールドカップ™の開催を起爆剤にサッカーの魅力を伝えてきた活動もさる事ながら、新潟の人々に地元のクラブ「おらが町のチーム」を応援する喜びが浸透してきていることを示しています。

満員のスタンドで声をあわせて、チームの歌を響かせ、一斉に郷土新潟を「愛している」と叫ぶとき、場内は他では味わえな

い感動と興奮につつまれます。そんなサポーターでいっぱいのスタンドは、プレーする選手達にも好影響を及ぼしています。フィールドでは、アグレッシブで観客を魅了するゲームが行われ、勝っても負けても「また観に来よう」と思わせるスペクタクルな試合がホームゲームのたびに繰り広げられているのです。アルビレックス新潟のホームゲームは、サポーター、選手、クラブが共鳴しあい生み出す一大エンターテインメントであり、サポーターはクラブや選手から提供されるのではなく、自らホームゲームに参加することで、喜びを見出しています。

年間観客入場者数の推移グラフ



安全で安心なスタジアムへ



42,300人を収容する新潟スタジアムを満員にするアルビレックス新潟のホームゲームは、安全性や清潔感といった部分においても様々な配慮がなされています。アルビレックス新潟では環境問題にも積極的に取り組み「クリーン&セーフティ宣言」を展開しています。来場者にきれいで安心・安全なスタジアムづくりを呼びかけるとともに、スタジアムで出るゴミの減量化にも着手し、関係団体の協力を得ながら、常によりよいホームゲーム運営を目指して改善を行っています。

また、来場者に試合終了後の清掃への協力を呼びかける「クリーンサポーター」は多数の参加者を集め、03年には新潟スタジアムで開催された日本代表の試合においても採用された実績を持っています。また、多数の来場者を迎える上で、必

要不可欠な力となっているのが、ボランティアスタッフの存在です。新潟では、2002FIFAワールドカップ™新潟開催をきっかけに、ボランティア活動が顕在化しましたが、その経験が無駄にすることなく、アルビレックス新潟のホームゲーム運営に力を貸していただいています。さらに、地元新潟のサッカー専門学校「JAPANサッカーカレッジ」の生徒、地元の中高生にもボールパーソンやフェアプレーフラッグの行進などに協力をいただいています。

いたるところで、新潟県民、サポーターが参加し、ともに作り上げていくアルビレックス新潟のホームゲーム。そこに携わる人たちとともに、アルビレックス新潟は“世界一のスタジアム”を目指して努力を続けています。



アルビレックス新潟は、地域スポーツの振興と、サッカーの普及促進を目指します

アルビレックス新潟サッカー普及事業

1 サッカーの普及を通じて、地域のスポーツ文化に貢献する。

2 地域の子どもたちにサッカーの楽しさを教え、心身の健全な育成とスポーツへの正しい理解を深める。

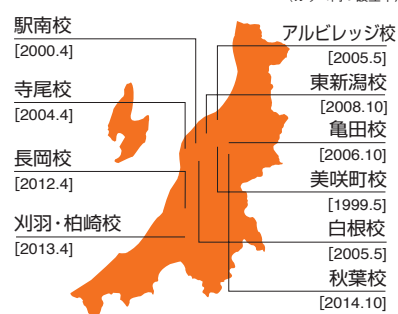
3 夢を持つ優秀な選手を育て、ユースチーム、トップチームへの扉を開き、将来の日本を支える選手の育成を目指す。

アルビレックス新潟サッカースクール

アルビレックス新潟サッカースクールは、99年の設立以来、より多くの子どもたちにサッカーの楽しさを味わっていただきたいという願いとともに、サッカーを基本から一貫指導、育成する場を提供する活動を行ってきました。現在は新潟市だけでなく、長岡市や刈羽・柏崎地域にもサッカースクールが開校されており(10校、約1,000人の生徒)、より広い地域へと指導

アルビレックス新潟サッカースクール所在地

(カッコ内：設立年月)



のネットワークが広がっています。また、アルビレックス新潟サッカースクールではサッカー技術だけでなく、子どもたちの成長や発育促進に力を尽くしています。特にスクール生や一般の方からも参加者を募集する「サマーキャンプ」では、サッカーの授業に加え共同生活の場で協調性を身につけることも重視して取り組んでおり、毎年多くの方からご好評をいただいております。



スクールには幼児から成年までのクラスが設けられており、年齢ごとに専門のコーチが技術レベルにあった指導を行っています。技術レベルの向上のみを活動の目的とせず、特別クラスとして中学生や成年、女子限定としたスクールを開催することにより、年齢・性別を問わずスポーツを楽しめる環境を作り上げています。



アルビレックス新潟のサッカー普及活動

アルビレックス新潟は、地域のサッカー・スポーツ人口の底辺拡大に取り組み、新潟県内を中心に積極的にサッカー教室を実施しています。新潟県、新潟市、聖籠町、地元新聞社をはじめとする各団体と協力して年間300回以上のサッカー教室を実施。巡回指導を行っている

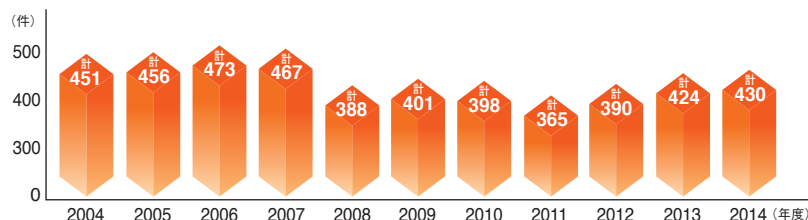
保育園、幼稚園の子どもから、本格的に技術を磨くクラブチームまで、様々な年齢・技術レベルにあわせて専門のコーチが的確な指導を行なっています。

また、フットサルコートなどの施設的一般開放や、小中学生によるJリーグ、なでしこリーグ公式戦の前座試合など、アル

ビレックス新潟は新潟でサッカーをする機会を増やしてきました。サッカー技術の向上はもちろん、なによりもサッカーをすること、スポーツをすること、体を動かすことの楽しさを多くの人に知っていただくことに努めています。

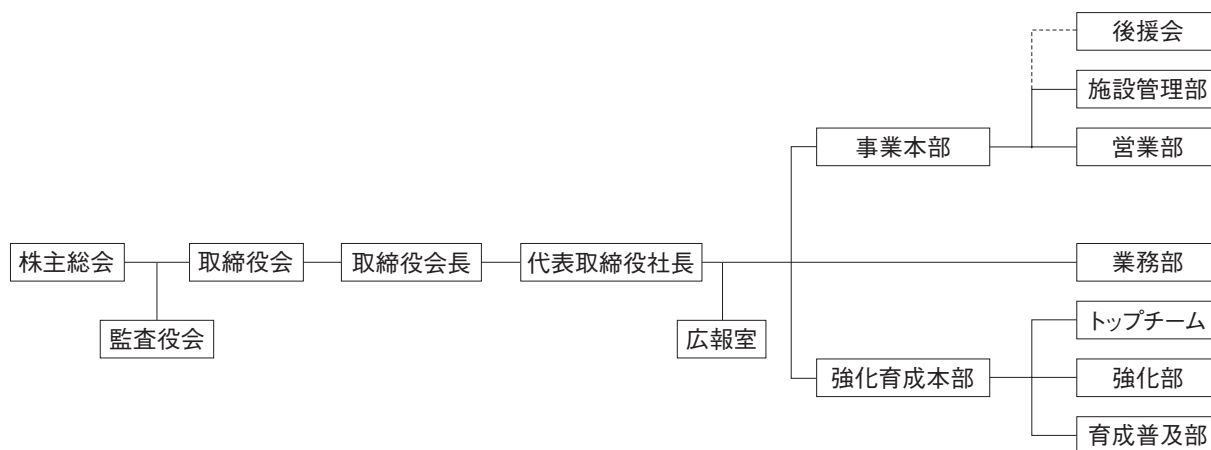


アルビレックス新潟 年度別普及活動実績



会社名	株式会社アルビレックス新潟
本社所在地	〒950-0954 新潟市中央区美咲町2-1-10 TEL.025-282-0011 FAX.025-282-0013
クラブハウス所在地	〒957-0101 新潟県北蒲原郡聖籠町東港5-914-2 TEL.025-257-5811 FAX.025-257-5812
資本金	7億1275万円(170企業・団体)
設 立	1996年4月
従業員数	114人(フロント・アカデミースタッフ76人、チームスタッフ15人、選手23人)
ホームタウン	新潟市、聖籠町
活動地域	新潟県全域
ホームスタジアム	デンカビッグスワンスタジアム(収容人数42,300人)、新潟市陸上競技場(収容人数18,671人)

組 織



役 員

●顧問

五十嵐 祐司	東邦産業(株) 代表取締役
植木 義明	(株)植木組 代表取締役社長
内田 力	(株)コロナ 代表取締役社長
市 村 稿	(株)加賀田組 代表取締役社長
前川 磐	(株)テレビ新潟放送網 相談役
北村 芳明	(株)アークベル 代表取締役
田中 通泰	亀田製菓(株) 代表取締役社長
野崎 正平	一正蒲鉾(株) 相談役
真柄 準一	(公財)真柄福祉財団 理事長
水倉 直人	(株)水倉組 代表取締役社長
小田 等	丸運建設(株) 代表取締役社長
中 山 茂	第一建設工業(株) 取締役常務執行役員管理本部長
吉田 康	(株)ブルボン 代表取締役社長

●代表取締役

田村 貢	(株)アルビレックス新潟 代表取締役社長
------	----------------------

●取締役

池田 弘	(株)アルビレックス新潟 取締役会長
若杉 爾	(株)アルビレックス新潟 取締役
神田 勝夫	(株)アルビレックス新潟 取締役
山本 英明	(株)アルビレックス新潟 取締役
小山 直久	Office Koyama オフィスコヤマ 代表
佐藤 哲也	新発田ガス(株) 代表取締役社長
清水 秀雄	(株)トップカルチャー 代表取締役社長
本間 達郎	(株)本間組 代表取締役社長
野沢 慎吾	セコム上信越(株) 代表取締役会長
渡邊 滋	(一社)新潟県サッカー協会 副会長兼専務理事

●監査役

十二 重樹	(一社)新潟県サッカー協会 顧問
廣田 幹人	新潟総合警備保障(株) 代表取締役社長
和田 晋弥	(株)和田商会 代表取締役社長



アルビレックス新潟 会社概要

企業沿革

1955年	新潟イレブンサッカークラブとして創部。天皇杯本大会、全国社会人大会と数々の全国大会に出場。
1982年	社会体育優良団体(優良スポーツクラブ)として文部大臣賞を受賞。
1986年	北信越サッカーリーグに昇格。
1994年	4月 新潟県サッカー協会の強化指定を受ける。元ヴェルディ川崎のフランス・ファン・バルコム氏をコーチとして招聘。チーム名をアルビレオ新潟FCと改名。
1996年	4月 チーム母体を法人組織として株式会社アルビレオ新潟を設立。プロサッカーチーム「アルビレオ新潟FC」として活動を開始。資本金を2億9500万円から4億9800万円に増資。地元を中心とした151企業・団体から出資を受ける。
1997年	4月 商標の問題からチーム名の変更を決定。 県民投票に委ねられ、チーム名を『アルビレックス新潟』と改名。
1998年	12月 日本サッカー協会及びJリーグより1999年からのJ2リーグ参加承認を得る。 2月 全国地域リーグ決勝大会を激戦の中勝ち抜き、JFL昇格を果たす。 永井良和監督就任
1999年	11月 JFL閉幕。リーグ11位(12勝18敗) 3月 資本金を5億6200万円に増資。(166企業・団体) 9月 クラブマスコットの発表。
2000年	11月 J2リーグ戦開幕。リーグ4位(20勝2分14敗) 12月 資本金を6億6000万円に増資。(171企業・団体) 3月 クラブマスコットのネーミング決定。『アルビくん』ホーム開幕戦でデビュー。
2001年	11月 J2リーグ戦開幕。リーグ7位(15勝5分20敗) 2月 反町康治監督就任。
2002年	11月 J2リーグ閉幕。あと一步というところで念願のJ1昇格を逃す。 リーグ4位(26勝4分14敗) 4月 アルビレックスレディースの発足を発表。 7月 クラブマスコット「アルビくん」が『スワンちゃん』と結婚。
2003年	11月 J2リーグ閉幕。リーグ3位(23勝13分8敗) 3月 Jリーグ参加後のホームゲーム入場者数が100万人を突破。 10月 資本金を7億1275万円に増資。(170企業・団体) 北蒲原郡聖籠町にクラブハウスが完成。 11月 聖籠町をホームタウンに追加する申請を行い、Jリーグの承認を受ける。 J2リーグ最終節でJ2優勝、J1昇格を決定。(27勝7分10敗) 12月 年間入場者数の新記録を達成。(667,477人) Jリーグアウォーズにて『Join賞』(チェアマン特別賞)を受賞。 アルビレックス新潟レディースが04年からL・リーグ2部に加盟することが決定。
2004年	6月 J1リーグ1stステージ開幕。リーグ14位(3勝5分7敗) 7月 JOMOオールスターサッカー2004が新潟スタジアムで開催。 ワールドチャレンジマッチ ポカ・ジュニアーズ戦を開催。(2・1) 8月 ワールドチャレンジマッチ パレンシアC.F.戦を開催。(5・2) 10月 新潟県中越地震が発生。クラブ内に『がんばろう!新潟』新潟県中越地震復旧支援アルビレックス本部を設置。監督、スタッフ、選手が被災地域を訪問。 11月 J1リーグ戦の年間観客動員数の新記録を達成。(565,336人) J1リーグ戦2ndステージ開幕。リーグ7位(7勝2分6敗)年間順位10位 L・リーグ2部閉幕。リーグ2位(12勝0分3敗) 12月 新潟県中越地震復興支援チャリティーマッチがんばれ新潟!ジョーコジャバンドリームチーム戦が、新潟スタジアムで開催。(0・0) Jリーグアウォーズにて、2年連続で『Join賞』(チェアマン特別賞)を受賞。
2005年	7月 新潟市合併記念国際親善マッチ 大連実徳戦を開催(2・2) 11月 L・リーグ2部閉幕。リーグ2位(13勝2分3敗) 12月 J1リーグ開幕。リーグ12位(11勝9分14敗) 反町康治監督退任。
2006年	1月 鈴木淳監督就任。 8月 ワールドチャレンジマッチ セビリアFC戦を開催(0・6)。 11月 なでしこリーグ閉幕。16勝3分2敗で2部優勝、1部昇格を決定。 12月 J1リーグ開幕。リーグ14位(12勝6分16敗)
2007年	12月 J1リーグ閉幕。リーグ6位(15勝6分13敗) なでしこリーグ1部閉幕。リーグ6位(3勝3分15敗)
2008年	11月 なでしこリーグ1部閉幕。リーグ7位(3勝2分16敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ13位(11勝9分14敗)
2009年	11月 なでしこリーグ1部閉幕。リーグ7位(5勝5分11敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ8位(13勝11分10敗) 鈴木淳監督退任。
2010年	1月 黒崎久志監督就任。 6月 FIFAワールドワールドカップ2010南アフリカ開幕。 矢野貴章選手が日本代表に選出、試合出場 10月 なでしこリーグ1部閉幕。リーグ6位(9勝1分8敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ9位(12勝13分9敗)
2011年	7月 FIFA女子ワールドワールドカップ2011ドイツ開幕。上尾野辺めぐみ選手、阪口夢穂選手がなでしこジャパン(日本女子代表)のメンバーに選出。史上初の優勝に大きく貢献する。 11月 なでしこリーグ1部閉幕。リーグ5位(6勝4分6敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ14位(10勝9分15敗)
2012年	1月 アルビレックス新潟レディース 全日本女子サッカー選手権大会で準優勝。 5月 黒崎久志監督退任。 6月 柳下正明監督就任。 11月 なでしこリーグ1部閉幕。リーグ5位(6勝5分7敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ15位(10勝10分14敗)
2013年	11月 なでしこリーグ1部閉幕。リーグ8位(5勝4分9敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ7位(17勝4分13敗)
2014年	8月 なでしこリーグレギュラーS閉幕。4位(10勝2分6敗) 11月 なでしこリーグエキサイティングS閉幕。上位リーグ3位(4勝3分3敗) 12月 J1リーグ閉幕。リーグ12位(12勝8分14敗)

株 主

Hero Holdings (株)	新潟照明技研 (株)	石本金属 (株)
(株) トップカルチャー	環境をサポートする(株)きらめき	(株) カヤバ
(株) テレビ新潟放送網	新潟県労働金庫	新潟空調 (株)
東北電力 (株)	新潟県総合生活協同組合	片山商事 (株)
(株) 新潟日報社	藤橋 コー	(株) 新潟ビルサービス
(株) 本間組	(株) 加島屋	(株) ビーズインターナショナル
新発田ガス (株)	しなの産業 (株)	堀川鮮魚 (株)
(株) 植木組	ニガタクリーンサービス(株)	日産プリンス新潟販売 (株)
東邦産業 (株)	新潟プレハブ工業 (株)	斎藤 俊治
新潟交通 (株)	新潟司商事 (株)	(株) 大原商店
(学) 新潟総合学院	ハセガワ化成工業 (株)	(株) 丸正産業
(学) 国際総合学園	(株) 小川	(株) 北越ケーズ
(株) アークベル	(株) 不二工務店	源川医科器械 (株)
一正蒲鉾 (株)	(株) 第一印刷所	北村食品 (株)
(株) 加賀田組	(株) 近藤組	(有) 相川車輛整備工場
亀田製菓 (株)	(株) バブリシテコア	(株) 丸新
(有) クローバー企画	(株) 吉田組	北日本工芸 (株)
(株) コロナ	(株) バイタルネット	(株) 堀川
(株) ノジマ	環境整備 (株)	(株) ホテルオークラ新潟
セコム上信越 (株)	(株) 新潟ケンベイ	三国フーズ (株)
第一建設工業 (株)	清水商事 (株)	金清水材 (株)
新潟冷蔵 (株)	(株) 電友舎	(株) 栗山米菓
丸運建設 (株)	(株) S.U建築設計 (株)	笹菊薬品 (株)
(株) 水倉組	(株) 鈴木コーヒー	アイビス技建 (株)
(株) リンコーコーポレーション	シナノ解体工業 (株)	日本サミコン (株)
(株) 第四銀行	玉井 茂	(株) 近藤組
(株) 新潟総合テレビ	中村石油 (株)	ケータリングフード(株)
新潟トヨタ自動車 (株)	白勢商事 (株)	セコムジャステック上信越 (株)
(株) 福田組	藤村ヒューム管 (株)	(株) 塚田牛乳
(株) プルボン	(株) 山下家具店	星野電気 (株)
新潟総合警備保障 (株)	(株) 若木印刷所	瑞穂医科工業 (株)
(株) 新潟テレビ21	新潟通信機 (株)	若杉 爾
(株) 新潟放送	(株) みのわ	小山 直久
(株) 和田商会	(株) 石井電光社	五十嵐建設 (株)
藤木鉄工 (株)	(株) 北越農林	(株) 環境プラント技研
日本精機 (株)	開発技建 (株)	(株) マルタケ
(株) 吉原組	福田道路 (株)	(株) 池田看板
TDKラムダ (株)	(株) 興和	越後天然ガス (株)
ナミックス (株)	創伸建設 (株)	阿部 剛
田村 貢	北日本建材リース (株)	(株) 大沢組
中野 孝太郎	(株) レックス	(株) マル吉大越組
(株) 新潟藤田組	敦井産業 (株)	(株) ノガミ
木山産業 (株)	(株) 荻荘電機	若杉 透
東光商事 (株)	北陸保全工業 (株)	山本 英明
(株) CSコーポレイション	(株) 植熊商店	蒲原瓦斯 (株)
北陸瓦斯 (株)	(株) きくや	マルタケ不動産 (株)
(株) エフエムラジオ新潟	笹勇印刷 (株)	北陸天然瓦斯興業 (株)
(株) 岩村組	(株) 本間釣具店	北栄建設 (株)
藤田金属 (株)	(株) 吉運堂	越後フロンパン (株)
中越運送 (株)	(株) クオリス	(株) 越配
(株) 大谷	(株) モリタ装芸	
金井度量衡 (株)	福田石材 (株)	
(株) ウオロク	久住電気 (株)	
(株) 皆川組	(株) ナカムラ	
(株) 大光銀行	(株) 北村製作所	
(株) 北越銀行	第一電設工業 (株)	
(株) 北都	(株) サイカワ	順不同

主な受賞歴

2003年	11月	新潟県知事表彰
2003年	12月	第53回日本スポーツ賞
2004年	4月	第12回スポニチ文化芸術大賞「優秀賞」
2005年	1月	平成16年度財界賞・経営者賞
2005年	3月	第15回ニュービジネス大賞 アントレプレナー大賞部門 最優秀賞
2005年	4月	第22回新潟県経済振興賞
2012年	11月	新潟県環境賞
2014年	6月	平成26年度「地域環境保全功労者表彰」(環境省)

ホームゲーム入場者数は、J1リーグ平均1.3倍以上となり、リーグ4番目となる390,648人の観客動員を達成。パブリシティ露出も多く、全国・地方メディアに多数取り上げられました。

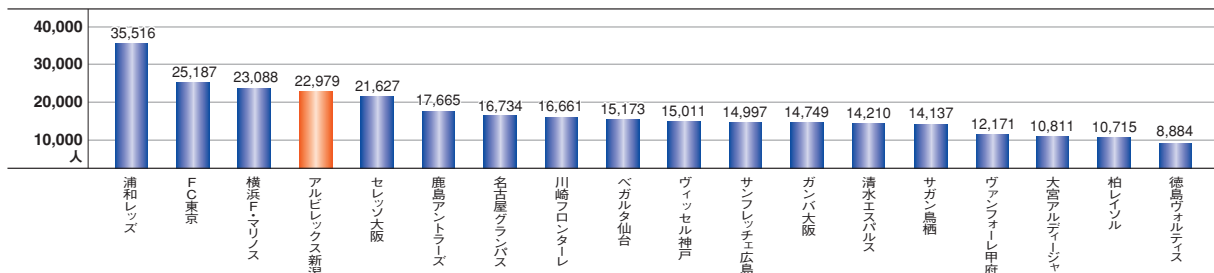
ホームゲーム年間入場者記録

**1試合平均22,979人は
J1リーグ平均の1.3倍以上**

参 考		2014年、単位：人
J1リーグ1チームあたりの年間平均入場者数 (17試合)		310,320
J1リーグ1チームあたりの1試合平均入場者数		17,240
J2リーグ1チームあたりの年間平均入場者数 (26試合)		144,958
J2リーグ1チームあたりの1試合平均入場者数		6,589

リーグ戦年間入場者記録(ホームゲーム、カップ戦含まず)						単位：人
	順位	クラブ名	リーグ	年間入場者数	1試合平均	試合数
2012年	1	浦和レッズ	J1	622,772	36,634	17
	2	アルビレックス新潟	J1	425,309	25,018	17
	3	FC東京	J1	407,243	23,955	17
2013年	1	浦和レッズ	J1	630,701	37,100	17
	2	横浜F・マリノス	J1	467,425	27,496	17
	3	アルビレックス新潟	J1	443,906	26,112	17
	4	FC東京	J1	426,246	25,073	17
2014年	1	浦和レッズ	J1	603,770	35,516	17
	2	FC東京	J1	428,184	25,187	17
	3	横浜F・マリノス	J1	392,496	23,088	17
	4	アルビレックス新潟	J1	390,648	22,979 ^(※1)	17

(※1) 2014年12月6日(土)開催予定であった最終戦第34節のホームゲームが降雪の影響で延期となり、2014年12月8日(月)に代替試合を茨城県立カシマサッカースタジアムにて実施。



パブリシティ露出

インターネット

- アルビレックス新潟 オフィシャルウェブサイト
- ※月平均 約210万ページビュー

テレビ

- スカパー!による全試合中継
- アルビレックススタイムス(スカパー!)
- Jリーグタイム(NHKBS1)
- やべっちFC(テレビ朝日系列)
- アルビレックススタイムスプラス(TeNY)
- とことんアルビ!!(TeNY)
- アルビSTADIUM(NST)

モバイル

- アルビレックス新潟 オフィシャルモバイルサイト
- ※月平均 208万ページビュー

マガジン

- サッカーマガジンZONE(20万部)
- 週刊サッカーダイジェスト(約56万部)
- 新潟Week!(隔週刊 3.5万部)/新潟地方
- 月刊komachi(5.5万部)/新潟地方
- PREVIEW(2,000部)/試合会場販売

ニューズペーパー

- 新潟日報(約50万部)/新潟地方
- スポーツニッポン(約4万部)/新潟地方版

パブリッシング

- アシストプレスALBIREX(隔月/5,000部)
- ALBIREXオフィシャルハンドブック(1万部)
- ALBIREXマッチデープログラム(各試合/4万部)

※その他、新潟地方テレビ、ラジオ局のニュース内番組、応援特集多数

ホームゲームTV視聴率(ローカル放送)

2013年

日 程	3月2日	3月9日	5月18日	10月5日	11月30日	12月7日	平均
対 戦 手	C大阪(アウェイゲーム)	広島	大分	鳥栖	横浜FM(アウェイゲーム)	名古屋	12.4%
キックオフ	14:00	16:00	14:00	15:30	14:00	15:30	
中 継 局	NHK新潟	NST	NHK新潟	UX	NHK総合(全国放送)	NHK新潟	
視 聴 率 %	14.4	11.3	7.7	10.4	13.7	17.1	

2014年

日 程	3月1日	3月8日	4月20日	4月29日	5月6日	5月10日	5月17日	9月23日	10月5日	10月18日	平均
対 戦 手	仙台(アウェイゲーム)	G大阪	横浜FM	神戸	清水	柏(アウェイゲーム)	名古屋	浦和	川崎	甲府	11.1%
キックオフ	14:00	13:00	15:00	14:00	14:00	19:00	15:00	14:30	19:00	15:00	
中 継 局	NHK新潟	NST	BSN	NHK新潟	NHKBS1(全国放送)	NHKBS1(全国放送)	TeNY	UX	NHKBS1(全国放送)	TeNY	
視 聴 率 %	13.1	12.9	12.1	10.1	—	—	14.3	8.1	—	6.9	